

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成29年2月21日(火) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

1. 寄附講座「アジアの水・食・健康リスク講座」の設置について
2. 豪雪・過疎地域の廃校を利用した冬期・高齢者向け農作物栽培実験を開始
3. 人文学部の学生が「マーケティング分析コンテスト2016」で佳作を受賞しました
4. 文部科学省“次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト”次世代火山研究者育成プログラムに、山形大学参加
5. 学生と地域の方々との連携事業報告「雪菜イベント第2弾」

お知らせ

1. 「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」最終報告シンポジウムについて
2. 寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座 豚舎除幕式及び活動報告会を開催します
3. 震災の記憶と教訓の風化防止のため、学生と市民が『6年目のCandle Night』を開催します
4. 科学で東北を盛り上げ隊！@石巻を開催します
5. 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動 浦戸桂島観光再生ツアー 参加者募集！
6. 山形大学発の資格認定制度「星のソムリエ」全国シンポジウムを開催
7. 山形大学 人材バンクを活用した講演会について
8. 平成28年度山形大学学生表彰及び奨励表彰の表彰式のご案内

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成29年3月7日(火)11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(2月21日)発表者

1. 寄附講座「アジアの水・食・健康リスク講座」の設置について

学術研究院 教授(水環境工学)

わたなべ とおる
渡部 徹

2. 豪雪・過疎地域の廃校を利用した冬期・高齢者向け農作物栽培実験を開始

理事・副学長

おおば よしひろ
大場 好弘

学術研究院 准教授(東北創生研究所担当)

むらまつ まこと
村松 真

3. 人文学部の学生が「マーケティング分析コンテスト2016」で佳作を受賞しました

学術研究院 教授(人文学部担当)

これかわ はるひこ
是川 晴彦

人文学部法経政策学科 3年

あきば たくや
秋葉 拓哉

4. 文部科学省“次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト”次世代火山研究者育成プログラムに、山形大学参加

学術研究院 教授(理学部担当)

ばん まさお
伴 雅雄

大学院理工学研究科博士後期課程1年

にし ゆうき
西 勇樹

理学部地球環境学科 4年

いとう なおと
伊藤 直人

5. 学生と地域の方々との連携事業報告「雪菜イベント第2弾」

学生交流コーディネーター(工学部3年)

はら ゆうた
原 祐太

〃 (〃)

ながさわ ひろき
長澤 滉生

〃 (〃)

あきやま としき
秋山 俊樹

〃 (工学部1年)

たいら すぐり
平 春来里

平成29年2月21日
山形大学

寄附講座「アジアの水・食・健康リスク講座」の設置について

山形大学では、公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金の支援を受け、平成29年4月に寄附講座（公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金「アジアの水・食・健康リスク講座」）を農学部を設置します。

1. 概要

1) 寄附者；公益財団法人住友電工グループ社会基金

「Glorious Excellent Company」をめざす住友電工グループにふさわしい社会貢献を実現するため、国内外の様々な分野における人材育成と学術振興を行うことを目的として、2009年4月に設立。

2) 寄附予定額；1,500万円／年 5年間 総額7,500万円

3) 寄附の時期及び期間；平成29年4月～平成34年3月（5年間）

4) 担当予定教員名；渡部徹教授ほか1名

2. 本講座における教育研究の内容

アジアの持続可能な産業社会の発展の基礎となる水と食料の安全保障をゆるがす諸問題を理解し、それらの問題による健康リスクを正しく評価できる人材を育成することを目的とする。そのための本講座で計画している活動内容については、添付資料をご覧ください。

(お問合せ先)

学術研究院 教授

渡部 徹（水環境工学）

電話 0235-28-2907

平成29年4月開設の寄附講座

公益財団法人住友電工グループ
社会貢献基金

「アジアの水・食・健康リスク講座」 の紹介

山形大学 学術研究院
教授(農学担当)
渡部 徹



講座の目的

- ・経済発展著しいアジア諸国では農業部門の存在はいまだ大きく、増え続ける人口を支えるためにも食料生産の必要性は高い。
- ・国民の所得増加は質の高い食品に対するニーズを呼び起こし、「良質な農産物を生産すれば高く売れる」環境が整いつつある。
- ・一方で、目先の利益を追求して、過剰な肥料や農薬使用が生産環境や周辺環境の劣化を引き起こす恐れも。
- ・生産環境の劣化に関しては、工業部門や民生部門からの廃水や廃棄物の影響も大きい。また、気候変動によって近年頻発する洪水や渇水も、食料の安定生産・供給のリスク要因となっている。

本講座では、アジアの持続可能な産業社会の発展の基盤となる水と食料の安全保障をゆるがす諸問題を理解し、それらの問題による健康リスクを正しく評価できる人材の育成を行う。

どんな活動を行うのか？

①教育活動

学生は、**農学部のグローバル食農環境コース(英語によるカリキュラム)**で学ぶ。本講座教員による水環境汚染と健康リスクに関する講義の他、協力教員の講義からは、気候変動下での食料生産、汚染物質に対応した食品加工技術、食品の流通による健康リスクの拡大などについて学ぶ。

②学生の海外セミナー

学生を毎年、**東南アジア諸国に派遣し、現地の学生とともに1週間のセミナーを実施**。水と食の汚染に関連する施設の見学の他、実践型教育としてフィールド調査も実施。その後、現地学生とのワークショップを行い、問題解決に関する議論を行う

山形大学の大学院生を中心に募集、客員教員を通じて、他大学の学生の参加希望も受け付ける。

どんな活動を行うのか？

③博士課程留学生の招へい

アジア諸国の大学から**博士課程の留学生を招へい**する。講座の設置期間中に学位を取得できるように、1～3年目に1名ずつ招へいし、本講座の所属学生として教育研究を行う。

④研究活動

渡部のこれまでの研究実績をもとに、ベトナム・フエ市およびインドネシア・バンドン市などのフィールドで、温暖化、都市洪水、農地汚染、感染症、健康リスクをキーワードとする**研究プロジェクトを実施**する。大規模な研究を実施するために、外部資金の獲得にも積極的に挑戦する。



寄附講座「アジアの水・食・健康リスク講座」

スタッフ:教授1, 助教1, 客員教員3, 協力教員10

学生:所属学生10(修士5, 博士5=5年間の合計), 受講学生15(毎年)

教育

山形大学農学部国際コース
(29年度設置予定)での教育

本講座教員と他講座の教員
(協力教員)による「グローバル
食農環境論」

英語によるカリキュラムで,
関連知識や技術の習得

アジアでの研究や国際交流
に活かせる能力が身に付く!

研究

過去・現在の研究プロジェク
トにもとづいた課題の設定

学外の研究者を客員教員と
して招へいし, 最先端の知見
や技術を導入

アジアの水・食・健康リスクの
分野で世界をリードする研究
を展開できる!

国際交流

毎年, 受講学生15名(所属
学生以外を含む)を海外派遣

現地の関連施設の見学,
フィールド調査, 現地学生と
のワークショップ

アジアの諸問題を体感として
理解できる! 英語でのディス
カッション能力が身に付く!

アジア5カ国5大学の協力

山形大学および農学部の国際化との連携

教授:渡部徹(兼任) **助教:**現在選考中

客員教員:福士謙介・東大教授(専門:サステナビリティ学), 吉村千洋・東工大准教授
(専門:水質モデル), 渡辺幸三・愛媛大准教授(専門:遺伝生態学)の3名を予定。

協力教員:農学部でグローバル食農環境コースを担当する教員

本講座に期待されていること

- ・産業発展や地球温暖化にともなう水環境汚染
- ・水環境汚染にともなう農作物被害
- ・汚染された食品による健康リスク

これらのすべてを包括した**分野横断的で総合的な教育研究を担う講座**は他にはない。既成の概念や学術分野の枠を超えた、**新しい領域での人材育成や学術研究**が行われる。

山形大学に設置する意義

山形大学では、中長期的なビジョンとして「**次世代形成**」「**地域創生**」「**多文化共生**」の3つの使命を掲げ、大学改革を進めている。アジアの環境問題解決に資する人材育成を目指す本講座は、この改革方針に合致し、改革に貢献できる。

平成29年2月21日
山形大学

豪雪・過疎地域の廃校を利用した冬期・高齢者向け農作物栽培実験を開始

廃校となった真室川町の旧及位^{のぞき}中学校を活用して、教室で冬期間に高齢者を対象とした大葉(シソの葉)や香酸柑橘類(レモン, ライム)の栽培実験を開始することになりました。

1.研究の目的

豪雪地帯・過疎地域の廃校を農作物栽培によって、冬期間及び高齢者を対象とした利活用を可能にするためのシステム構築と実用化を図るものです。

2.研究の場所

真室川町大字大滝64-1 旧及位中学校内 他

3.研究実施体制、協力・支援体制

株式会社庄司製材所と山形大学の共同研究として行うもので、研究の協力・支援体制として民間企業、地方自治体、本学教員、連携研究員等による「真室川町廃校利活用研究会(事務局：真室川町役場内)」を組織して、本研究の目的実現に協力するとともに、支援・助言を行います。

4.栽培実験の概要

- ・熱源は、株式会社庄司製材所が木質バイオマス利用施設として旧及位中学校体育館内に設置しているパークボイラーと熱湯パイプラインを利用
- ・熱湯パイプラインを経由した80℃程度のお湯が中学校1階の廊下部分に通されており、その熱を利用して教室内の温度を約15～20℃にすることが可能
- ・実験は、2階の教室に防湿シートを床と壁面に施した上で、4つの試験栽培区に区画し、それぞれの栽培区に培養土を入れた栽培棚を設置する
- ・栽培区ごとに異なる条件でLEDライト、反射シート、培養土を設定し、生育状況、温度・湿度、二酸化炭素濃度、オゾン濃度、光量測定等の観察を定期的に行う

(お問合せ先)

学術研究院 准教授 村松 真 (東北創生研究所)
電話 023-695-6228

平成29年2月21日(火)
プレス発表用補足資料

豪雪・過疎の廃校を利用した冬期・ 高齢者向け農作物栽培実験

山形大学東北創生研究所

1 研究のテーマ・目的

(1) テーマ

豪雪地帯・過疎地域における農作物栽培による冬期・高齢者向け廃校利用システム構築に関する研究

(2) 目的

豪雪地帯・過疎地域の廃校を農作物栽培によって、冬期間及び高齢者を対象とした利活用を可能にするためのシステム構築と実用化を図ることを目的とする。



写真1 冬の及位地区の風景

2 研究の実施場所

(1) 真室川町及位地内(大滝地区)

旧及位中学校

(2) 東北創生研究所のモデル市町村(地域)

- ① 東北創生研究所の研究を重点的に進める地域(真室川町・戸沢村・上山市・飯豊町・長井市／5市町村)
- ② モデル市町村では、問題・課題を明確にする。
- ③ モデル市町村地域の問題・課題の解決策を探求し提案していく。

写真3 旧及位中学校の風景



3 研究実施体制及び協力・支援体制

(1) 株式会社庄司製材所との共同研究

- ① 研究契約締結年月日：平成28年9月30日
- ② 研究期間：
平成28年10月1日～平成29年9月30日

(2) 真室川町廃校利活用研究会の実施

- ① 設立年月日：平成28年10月21日
- ② 構成メンバー(19人)
民間企業(12名)・金融機関(1名)・NPO関係者(1名)・行政関係者(3人)・大学関係者(3人)
※1 うち1名は民間企業及びNPO関係者
※2 うち8名は「山形大学連携研究員」

4 農作物栽培実験の概要

(1) 本実験の実施背景

- ① 人口減少・少子高齢化による農山村衰退の早急な解決策構築の要請
- ② 人口減少・少子高齢化による廃校の増加及びその利活用方法構築の要請
- ③ 豪雪地帯の冬期間の農業確立による周年農業構築の要請
- ④ 高齢者の増加に伴う、高齢者農業確立の要請

(2) 本実験の関連研究

本実験は、昨年から実施している東北創生研究所のプロジェクト研究「再生可能エネルギーの創造と有効活用方法の構築に関する研究」の関連研究でもある。

(3) 熱源の確保

熱源は、(株)庄司製材所が実施している木質系バイオマスによって生み出される再生可能エネルギーを利用する。具体的には、約80°Cの熱湯と温風が主である。

(4) 実験区の設定

2つの教室を利用した実験区を設け、内部に農業用ハウス(内部ハウス)を設置し、野菜栽培用土壌を利用した試験栽培を行う。

(5) 試験栽培作物

試験栽培作物は、大葉が主であり、引き続きパッションフルーツ・ライムの試験栽培を行う予定である。

(6) 光源の確保

光源については、教室に入ってくる自然光、市販のLEDライトを利用する。

(7) 灌水施設の利用

灌水施設は、民間企業で開発した最新のシステムを試験利用する。

(8) 試験栽培による試験・観察項目

- ① 試験栽培する農作物の生育状況に関する事項**
- ② 適正な温度・湿度の確保に関する事項**
- ③ 二酸化炭素の濃度に関する事項**

- ④ オゾンの利用に関する事項
- ⑤ 人工光の利用に関する事項
- ⑥ その他試験栽培に関連する事項

(9) 試験システムの改善

試験システム効率性・採算性の向上に関する
事項

(10) 地域社会システムへの導入における影響と
定着に関する事項

(11) その他

- ① 廃校利用の多種多様な可能性に関する事項
- ② その他関連する事項

写真4 大葉の栽培風景



写真5 栽培予定の大葉



写真6 シソ巻き製造の様子(1)



写真7 シソ巻き製造の様子(2)





写真8 県内でのレモン栽培例(参考)

5 本実験の予想される効果

本実験が成果を上げることができれば、次のような地域課題を解決する大きな突破口になると考えられる。

- ① 人口減少・少子高齢化による農山村衰退の突破口を見つけることができる。
- ② 廃校の有効な利活用方法を進めるための方法論構築の大きなヒントになる。
- ③ 豪雪地帯の周年農業構築の方法論が確立される大きなヒントになる。
- ④ 高齢者農業の確立につながる大きなヒントになる。
- ⑤ 再生可能エネルギーの有効利用に関する大きなヒントになる。

平成29年2月21日
山形大学

人文学部の学生が 「マーケティング分析コンテスト2016」で佳作を受賞しました

山形大学人文学部法経政策学科の学生が、このたび、野村総合研究所の主催する「マーケティング分析コンテスト2016」に佳作として入賞しました。

受賞した学生は、コンテスト応募型実践科目を履修して課題解決力を身に付けました。この科目の他にも、改組後の山形大学人文社会科学部では社会実践力を養う多彩な実践科目を用意し、地域課題の解決に貢献できる人材の育成に貢献していきます。

1. コンテスト応募型実践科目

山形大学人文社会科学部では新たな取組として地域や企業の課題を考える実践科目を必修化します。特徴的実践科目の一つとしてコンテスト応募型実践科目があります。この科目は、マーケティングデータ分析コンテストへの参加を通じて、企業実務で行われているようなマーケティングに関する分析方法を習得し、分析結果に基づいたレポート作成能力を身につけるものです。一連の学習を通じ経営学・統計学・経済学などの社会科学諸分野の知識を実務としてどのように実践すればよいのかについて学んでいきます。コンテスト応募型実践科目は平成28年度に先行開講しました。

2. 「マーケティング分析コンテスト2016」とは

マーケティング分析コンテストは様々な視点から生活者の購買要因を掘り下げてデータを分析し、斬新なビジネスの法則や新しいマーケティング指標等の発見を競うもので、企業が単独で行う広告・マーケティング領域でのコンテストとしてはレベルの高い国内最大級のコンテストです。

3. 山形大学人文社会科学部での教育体制

山形大学人文社会科学部では人文社会科学に関する多くの科目を提供します。これらの様々な学問分野の知識や考え方を結びつけて社会問題の解決に運用していく力を養うため、工夫したカリキュラムを提供していきます。

今後の活動

社会から大学に対して実践力の養成が求められています。山形大学人文社会科学部では、これらの要請に応えるために実践的教育科目を充実させ、地域社会への人材供給に貢献していきます。

(お問合せ先)

学術研究院(人文学部主担当)教授 是川晴彦

電話: 023-628-4273

Mail: korekawa@human.kj.yamagata-u.ac.jp

「マーケティング分析コンテスト2016」 -佳作受賞報告

- ・比嘉 愛七
- ・秋葉 拓哉

報告の概要

1. 「マーケティング分析コンテスト2016」の概要の紹介
2. 講義の流れと学習の成果
3. コンテスト成果物の紹介

「マーケティング分析コンテスト2016」とは？

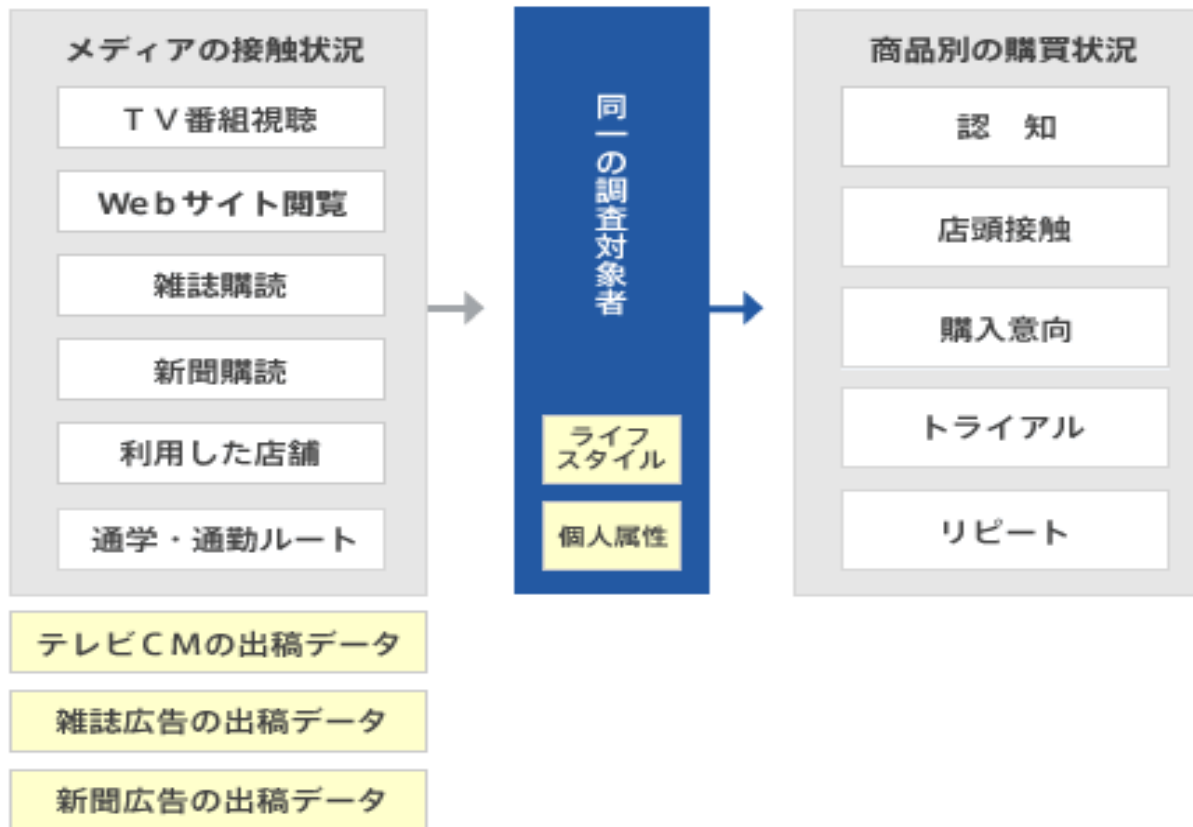
野村総合研究所から広告の実務に関連するほぼすべてのデータの提供を受け分析する国内最大のマーケティングコンテスト

A promotional banner for the Marketing Analysis Contest 2016. The background features a dense flock of birds in flight against a light sky. A dark grey horizontal bar at the top contains the text '審査結果・レポート公開中' (Review Results / Report Public). Below this, the text 'Marketing Analysis Contest' is written in a blue serif font. The main title 'マーケティング分析コンテスト2016' is displayed in a large, bold, blue sans-serif font. Underneath the title, a paragraph of Japanese text reads: 'マーケティング分析コンテスト2016を開催いたしました。たくさんのご参加ありがとうございました。是非、表彰作品などご覧ください。なお、2017の開催概要は2017年4月頃ご案内いたします。' (We held the Marketing Analysis Contest 2016. Thank you very much for your many participations. Please check the award-winning works, etc. In addition, we will announce the 2017 contest details around April 2017.) At the bottom center, there is a white rectangular button with a thin black border containing the text '詳しく' (Details).

提供されるデータの概要

広告の実務に関連するほぼすべてのデータを利用可能であり、マーケティングの実務の一端に触れることができる

(図1) シングルソースデータの全体像



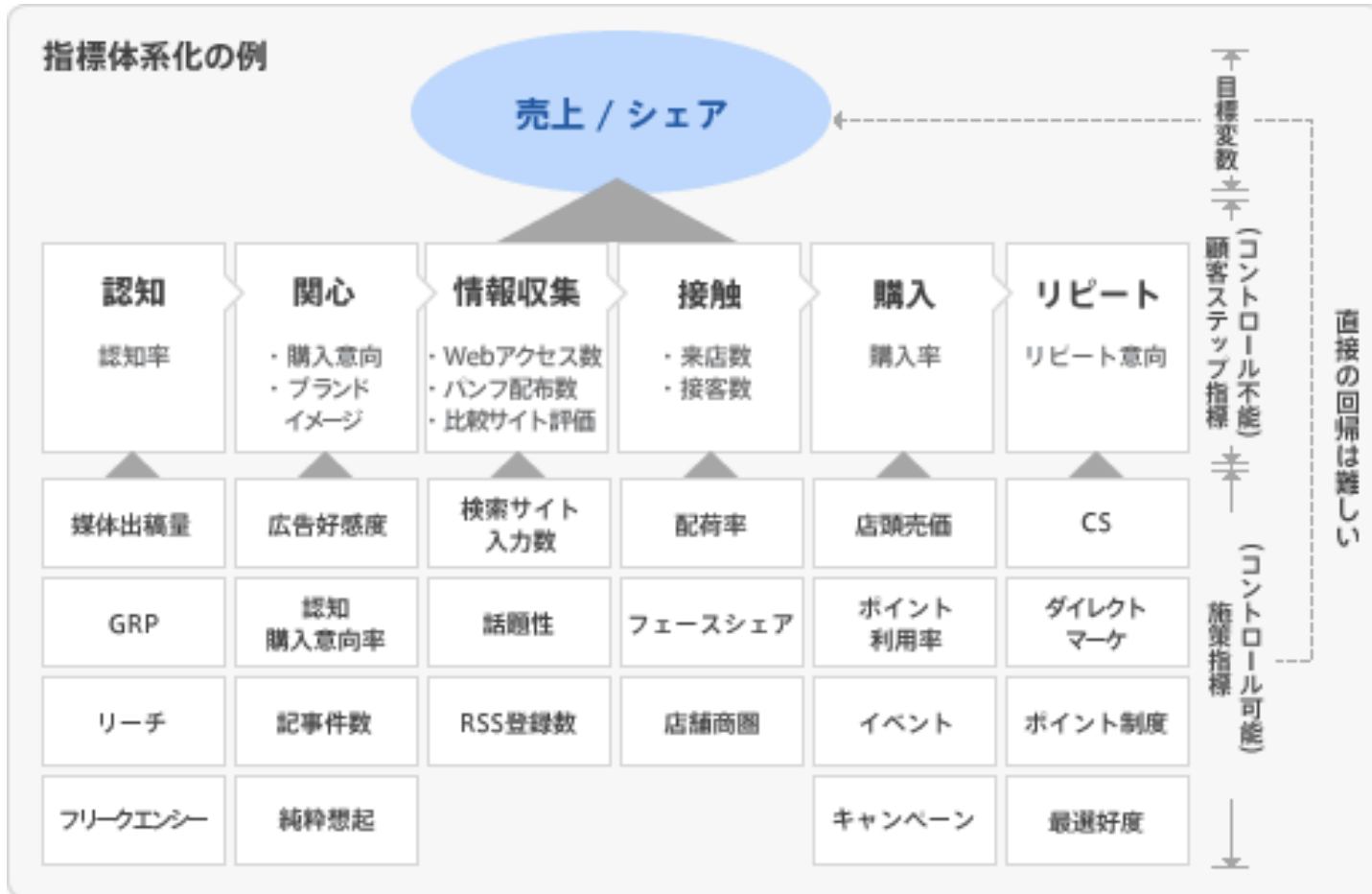
利用可能なデータの 카테고리

多製品・多カテゴリーの利用によって産業間の相違やブランドポートフォリオマネジメントの実践的学習が可能である。

- 飲料（32商品）
 - 炭酸
 - 缶コーヒー
 - 無糖系
 - スポーツ・機能性
 - ドリンク剤
 - その他
- 食品（25商品）
 - 菓子
 - アイス
 - 健康食品
 - その他
- 自動車（2商品）
- サービス（13商品）
 - 外食
 - 携帯電話サービス
- 化粧品（11商品）
- 保険会社（11商品）
- アルコール（10商品）
- 医薬品（17商品）
- その他（9商品）
- ジャンル
 - ビール、発泡酒、新家電（14商品）
 - デジカメ
 - テレビ
 - プリンタ
- チューハイ

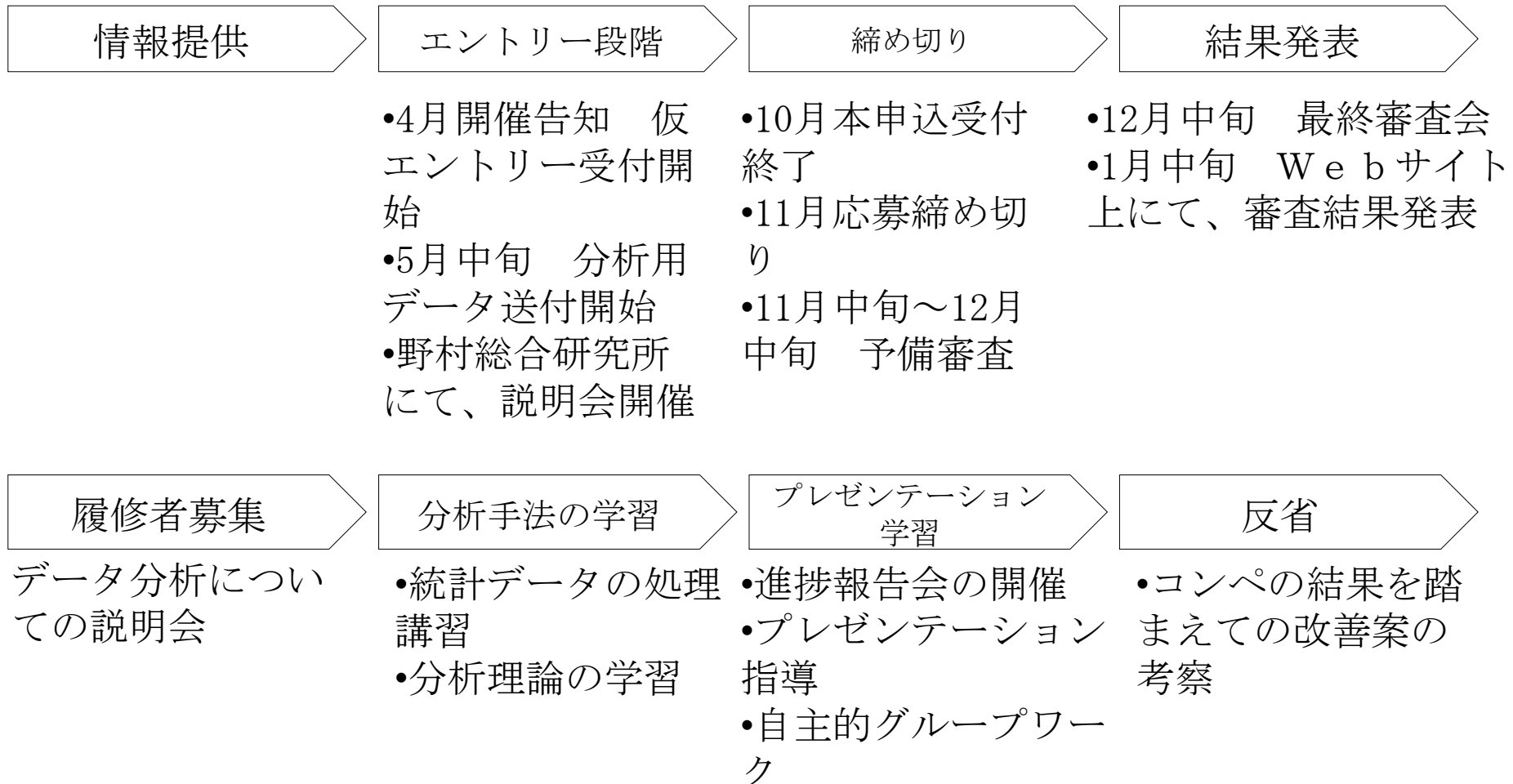
実務との関連性

広告のベーシックなモデルを元に経営にビジネス全般で求められる知識を実践的に分析するものである。



講義の流れ

野村総合研究所から提供されるデータに基づき、必要とされる知識の習得と分析を行いプレゼンテーションを作成する



学習の成果

分析とチーム内の調整からビジネスで必要な知識を学習した

学びの内容

データの取扱

- 与えられたデータをどう処理するか？
- 処理したデータをどのように解釈するか？

学習内容の実践化

- 統計学の基本の習得
- データ分析のためのソフト操作
- データを解釈するための経済・経営学の知識

学問的実践力

得られた教育効果

分析能力

- データのコーディング
- 問題の設定能力
- 統計的処理能力
- 分析結果の解釈能力

専門知識

- データ分析のフレームワーク獲得
- 分析の背後に有る経済理論
- 統計学に対する理解
- 理論と実証の接合力

プレゼンテーション能力

- 資料の作成能力
- 資料のデザイン能力
- 発表能力

チームワーク能力

- チーム内での折衝能力
- プロジェクト遂行のためのリーダーシップ

平成28年2月21日
山形大学

文部科学省“次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト” 次世代火山研究者育成プログラムに、山形大学参加

御岳山の噴火などを契機に、火山研究を総合的に推し進める必要が認識され、文部科学省は、火山に関する各種研究プロジェクトと人材育成プロジェクト（次世代火山研究者育成コンソーシアム構築事業）から成る“次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト”を立ち上げました。

2月11日に開校式が行われ、これからプロジェクトが本格的に始動します。山形大学もコンソーシアムに参加し、関連講義を行うほか、本学教員がフィールド実習の担当としてプロジェクトに貢献します。

○次世代火山研究者育成コンソーシアム構築事業

次世代火山研究者育成コンソーシアム構築事業は、若手研究者の育成・確保を推進することを目的として、火山研究・教育を行っている大学、関係省庁、研究機関などが連携してコンソーシアムを構築^(※)し、火山研究者育成プログラムを作成・実行します。事業費は本年度から10年計画で年間約4千5百万円です。

理学にとどまらない工学・社会科学等の広範な知識を有する研究者を育成・確保し、火山研究者の人数を現在の80人から160人に増やすことが目標です。

※コンソーシアム参加機関：東北大学、北海道大学、山形大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、九州大学

コンソーシアム協力機関：鹿児島大学、神戸大学、信州大学、東海大学、秋田大学、防災科学研究所、気象研究所、産業技術総合研究所、国土地理院

○霧島山フィールド実習（3月12～17日）

火山学は学際的な学問であります。しかし、通常は複数の分野に跨った講義や実習を受けることが困難でした。そこで本プログラムでは、地球物理学、地質・岩石学、地球化学、防災学、自然災害科学に関する大学院生対象の授業、コンソーシアム等が開講する火山学実習、火山学セミナー、インターンシップなど、複数分野を体系的に学ぶことができるプログラムを用意しています。

火山学実習では、国内外の火山での実習が、火山学セミナーでは最新の火山学研究や工学・農学・人文社会学分野の火山に関するセミナーが用意されます。3月12～17日には霧島山にてこの実習が行われ、本学の学生、大学院生も参加します。（今年は特例で、大学院進学予定の4年生も参加が認められました。）

山形大学は、火山災害軽減に関する研究プロジェクトに長年携わり、地道な研究を重ね、蔵王火山活性化に際し対応に当たってきました。また、ハワイ大学（アメリカ）やサマランカ大学（スペイン）等、海外の大学との交流により、国際的に活躍する若手研究者の育成に力を入れてきました。これら本学の実績や取り組みが今回のプログラムに生かされています。

（お問合せ先）

学術研究院 教授（理学部担当）
伴 雅雄

電話023-628-4642

ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト

観測

火山研究

リアルタイム推移予測

対策

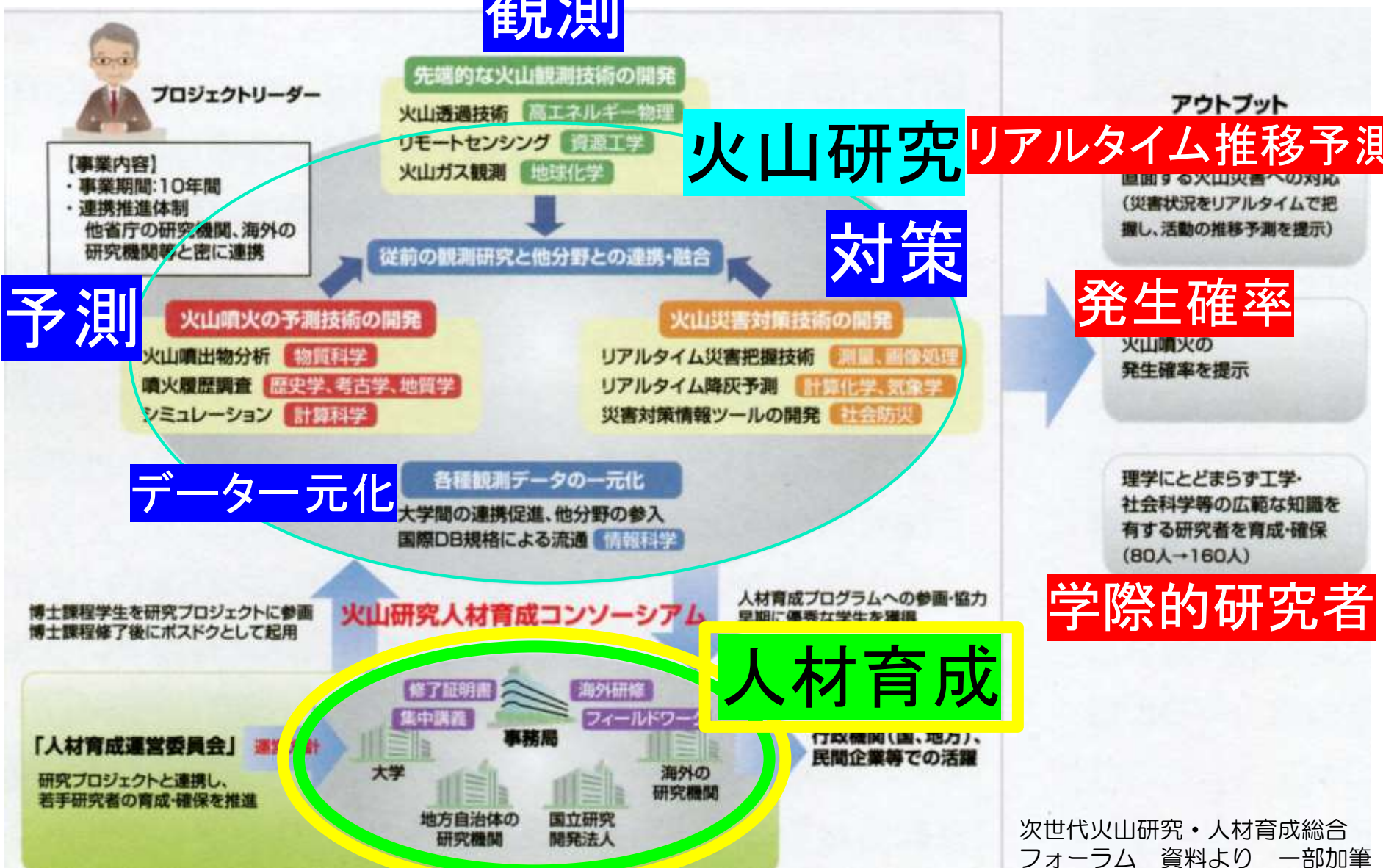
発生確率

学際的研究者

人材育成

予測

データ一元化



プロジェクト参加機関一覧

課題 A：各種観測データの一元化

課題責任機関	防災科学技術研究所
課題 B：先端的な火山観測技術の開発	
課題責任機関	東京大学
共同実施機関	防災科学技術研究所
参加機関	北海道大学
参加機関	東北大学
参加機関	東京工業大学
参加機関	名古屋大学
参加機関	神戸大学
参加機関	九州大学
参加機関	鹿児島大学
参加機関	東海大学
参加機関	神奈川県温泉地学研究所
課題 C：火山噴火の予測技術の開発	
課題責任機関	北海道大学
共同実施機関	東京大学
共同実施機関	防災科学技術研究所
参加機関	東北大学
参加機関	秋田大学
参加機関	山形大学
参加機関	茨城大学
参加機関	静岡大学
参加機関	熊本大学
参加機関	早稲田大学
参加機関	日本大学
参加機関	常葉大学
参加機関	産業技術総合研究所

課題 D：火山災害対策技術の開発

課題責任機関	防災科学技術研究所
共同実施機関	アジア航測株式会社
共同実施機関	京都大学
参加機関	鹿児島大学
参加機関	山梨県富士山科学研究所
参加機関	株式会社大林組
課題 E1：空中マイクロ波送電技術を用いた火山観測・監視装置の開発	
課題責任機関	九州大学
課題 E2：位相シフト光パルス干渉法を用いた振動観測システムの総合的評価	
課題責任機関	秋田大学
共同実施機関	白山工業株式会社

火山研究人材育成コンソーシアム構築事業

コンソーシアム代表機関	東北大学
コンソーシアム参加機関	北海道大学
コンソーシアム参加機関	山形大学
コンソーシアム参加機関	東京大学
コンソーシアム参加機関	東京工業大学
コンソーシアム参加機関	名古屋大学
コンソーシアム参加機関	京都大学
コンソーシアム参加機関	九州大学
コンソーシアム協力機関	気象庁気象研究所
コンソーシアム協力機関	国土地理院
コンソーシアム協力機関	防災科学技術研究所
コンソーシアム協力機関	産業技術総合研究所

プロジェクト参加機関一覧

(1) 選定件数及び平成28年度公募申請上限額：7件（655,000千円）

次世代火山研究推進事業：6件（610,000千円）

- 課題A：各種観測データの一元化：1件（110,000千円）
 - 課題B：先端的な観測技術の開発：1件（220,000千円）
 - 課題C：火山噴火の予測技術の開発：1件（160,000千円）
 - 課題D：火山災害対策技術の開発：1件（110,000千円）
 - 課題E：火山観測に必要な新たな観測技術の開発：2件（各5,000千円）
- 火山研究人材育成コンソーシアム構築事業：1件（45,000千円）

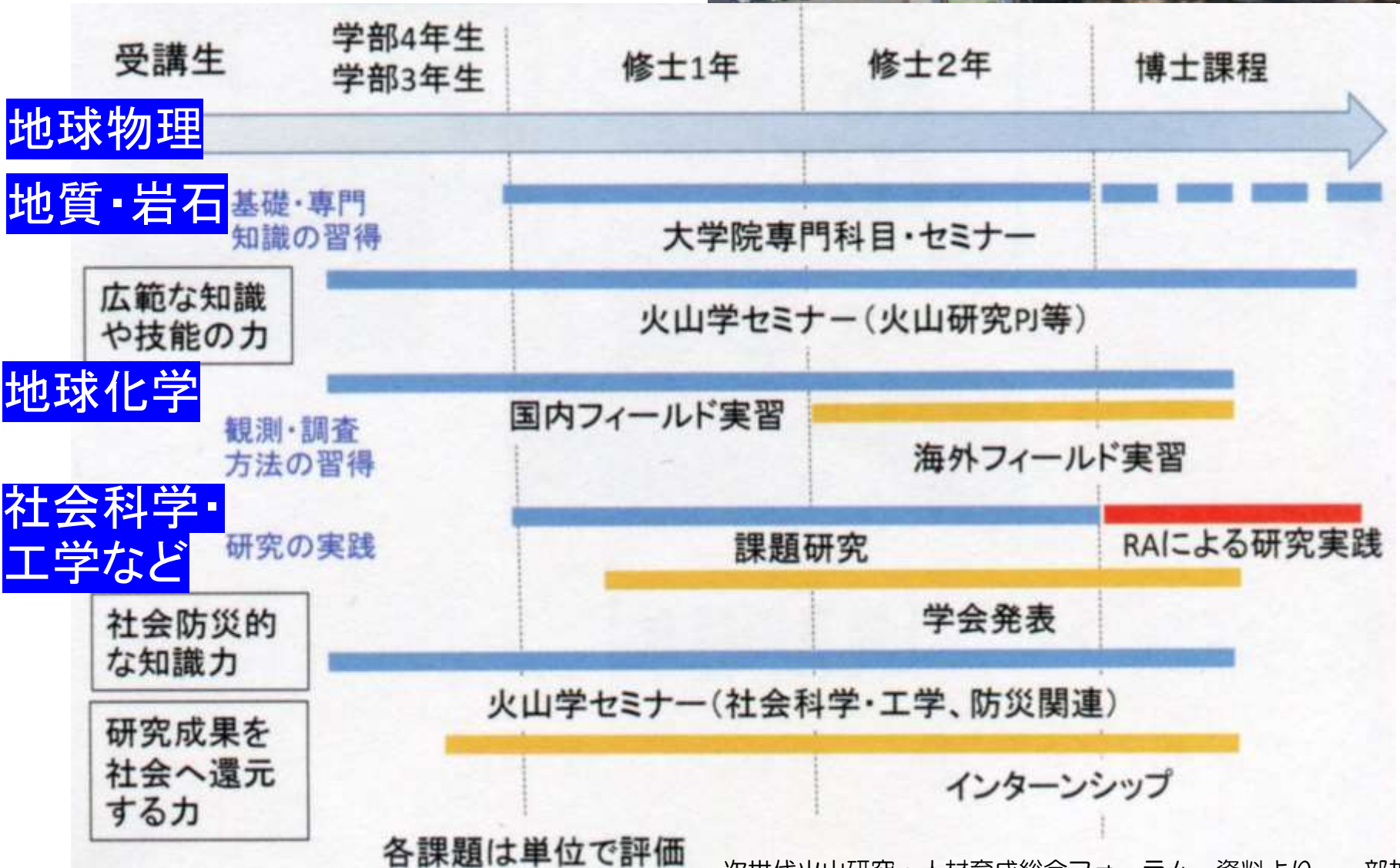
(2) 事業期間：平成28年度から最大10年間

参加機関	神奈川県温泉地学研究所
課題C: 火山噴火の予測技術の開発	
課題責任機関	北海道大学
共同実施機関	東京大学
共同実施機関	防災科学技術研究所
参加機関	東北大学
参加機関	秋田大学
参加機関	山形大学
参加機関	茨城大学
参加機関	静岡大学
参加機関	熊本大学
参加機関	早稲田大学
参加機関	日本大学
参加機関	常葉大学
参加機関	産業技術総合研究所

火山研究人材育成コンソーシアム構築事業	
コンソーシアム代表機関	東北大学
コンソーシアム参加機関	北海道大学
コンソーシアム参加機関	山形大学
コンソーシアム参加機関	東京大学
コンソーシアム参加機関	東京工業大学
コンソーシアム参加機関	名古屋大学
コンソーシアム参加機関	京都大学
コンソーシアム参加機関	九州大学
コンソーシアム協力機関	気象庁気象研究所
コンソーシアム協力機関	国土地理院
コンソーシアム協力機関	防災科学技術研究所
コンソーシアム協力機関	産業技術総合研究所

火山研究人材育成プログラム

3月の実習地：
霧島山



平成29年2月21日
山形大学

学生と地域の方々との連携事業報告「雪菜イベント第2弾」

「山形大学と交流する会」の学生交流コーディネーター（学生AA（アドミニストレイティブアシスタント））が地域の方々との連携事業を企画し、平成29年1月28日（土）に「雪菜イベント」を実施しました。

【山形大学と交流する会の学生交流コーディネーターとは】

「山形大学と交流する会」は、山形大学における研究の発展と人材の育成を支援するとともに、会員企業様と山形大学の教職員及び学生との交流を推進することによって、地域の活性化等に寄与することを目的としています。

その交流を行うために、学生交流コーディネーターを採用し、様々な活動を自ら企画し、実施することにより、地域の活性化の一環を担っております。

【「雪菜イベント」活動内容】

日時：平成29年1月28日（土）11:00～14:30

対象：米沢市愛宕地区の農家や地域の皆様

場所：愛宕コミュニティセンター（米沢市古志田町76-3）

このイベントの目的は、「米沢の魅力を発見して、その魅力の発信者になれるシステムの構築」及び「地域の方々、学生がお互いの交流を通して異文化を体験してもらい、価値観を新たに創造できるシステムの構築」です。

この目的を達成するために、「Food Mapping」をアイスブレイキングに取り入れて、米沢の食に関する魅力的なモノとその場所が一目でわかるような地図を参加の皆さんに作ってもらいました。

また、参加者全員での会食を行いました。この会食に出された料理の材料は、米沢の伝統野菜である「雪菜」と「遠山かぶ」で、9月頃から地域の方からご指導やご協力をいただき、学生が種まきから収穫までを行ったものです。今回、この材料を使用して、参加学生が料理を作りました。

このような活動を通して、参加の学生と地域の方々との交流を今後も継続していきたいと思っております。

（お問合せ先）

エンロールメント・マネジメント部

社会連携課 東海林

電話 023-628-4843

雪菜イベント第2弾！！ 学生×地域の方々 報告

2017年2月21日



開会式の様子



雪菜と遠山かぶ



アイスブレイキング「Food Mapping」の様子



調理と食事の準備の様子



料理の紹介と雪菜の説明の様子



会食の様子



集合写真

平成29年2月21日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」最終報告シンポジウムについて

山形大学では、安達峰一郎の業績を正當に評価するため、約4年半にわたり、全国の外交史・国政政治及び国際法の第一級の研究者による研究を進め、このたび研究の集大成として成果報告書を刊行することとなりました。これを記念し、安達峰一郎の業績や人物像について著者の口から直接語られる、最終報告シンポジウムを開催いたします。

日時：平成29年3月6日（月）13：30～17：00

会場：キャンパスイノベーションセンター東京（東京都港区芝浦3-3-6）

2. 寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座 豚舎除幕式及び活動報告会を開催します

昨年4月に農学部開設した寄附講座の研究活動の一環として、農学部附属やまがたフィールド科学センター（高坂農場）で建設が進められていた豚舎が昨年12月に完成しました。この完成を祝する除幕式を執り行うとともに、本年度に展開された寄附講座の活動報告会を開催します。

■豚舎除幕式 日時：平成29年2月28日（火）14：00～

会場：山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター（高坂農場）

■活動報告会 日時：平成29年2月28日（火）15：20～（除幕式終了後）

会場：山形大学農学部301講義室

3. 震災の記憶と教訓の風化防止のため、学生と市民が『6年目のCandle Night』を開催します

学生、市民、市民団体で構成されるキャンドルナイト実行委員会が同イベントを行うのは今回で6回目です。鶴岡市と山形大学農学部の共催、鶴岡市社会福祉協議会と鶴岡市教育委員会の後援のもと、3月11日（土）19時に鶴岡アートフォーラムでキャンドルや竹灯籠を一斉に灯します。

また、防災・減災について自らのこととして考えるきっかけとなるよう、今回初めて『追悼と備えのつどい』を企画しました。

4. 科学で東北を盛り上げ隊！@石巻を開催します

本学のやまがた「科学の花咲く」プロジェクトが継続して行っている科学実験教室を今年も石巻市で開催します。SCITAセンター学生スタッフをはじめ、SCITAセンターが認定した各種マイスター等が指導にあたります。

日時：平成29年2月26日（日）10：00～15：00

会場：こもれびの降る丘 遊楽館（石巻市北村字前山15-1）

5. 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動 浦戸桂島観光再生ツアー 参加者募集！

東日本大震災の被災地塩釜市浦戸桂島の復興支援のため、継続して6期目の『浦戸諸島桂島観光再生ツアー』を山形大学学生教職員有志が実施します。

【第一回】平成29年2月26日（日）※ 前日まで参加申込みを延長しています！

参加費：1食（現地での餅つき大会参加）付き

大人3,000円（小人1,500円）

【第二回】平成29年3月11日（土）～12日（日）

参加費：1泊4食付き大人11,400円（小人8,400円）

6. 山形大学発の資格認定制度「星のソムリエ」全国シンポジウムを開催

山形大学「やまがた天文台」発祥の星空案内人（星のソムリエ）資格認定制度は、全国に知られる制度と発展しました。地域社会で科学としての星空、文化としての星空を伝える全国の星空案内人（星のソムリエ）が一堂に会して切磋琢磨するシンポジウムを開催します。

開催日：平成29年3月5日（日）～6日（月）

会場：長野県佐久市 佐久平交流センター2F第5会議室

7. 山形大学 人財バンクを活用した講演会

山形大学校友会では、卒業生を人財バンクに登録し、学生支援の一環として講演や相談・就職アドバイスなどを行っていただく「人財バンク登録事業」を行っています。このたび、この事業を活用して理学部卒業生を招き、講演会を開催します。（一般の方も聴講も可能。申し込み不要）

日時：平成29年3月3日（金）16:30～18:00（18:30-19:30 キャリア相談）

会場：山形大学 理学部31番教室

講演者：株式会社トリプルアイズ社長 福原 智 氏（山形大学理学部物理学科卒）

講演タイトル：「最先端IT技術のAI（人工知能）が導く未来」

8. 平成28年度山形大学学生表彰及び奨励表彰の表彰式のご案内

山形大学は、学生及び学生団体を表彰し、功績を称える制度として、学生表彰と奨励表彰の2制度を設けています。平成28年度の表彰式を次のとおり行います。

日時：平成29年2月22日（水）

「山形大学学生表彰」13:30～

「山形大学奨励表彰」14:45～

会場：山形大学法人本部3階 第一会議室

※これまでにお知らせしたもので、開催中のイベント

◎第7回山形大学ケンチクモケイ展

地域教育文化学部生活環境科学コースの3年生が授業で取り組んだ課題（①七日町の御殿堰に隣接する敷地に新たな商業施設を設計 ②山形五堰を題材とし、そこに合う新しい親水空間の提案）について、建築模型及び図面の展覧会を開催しています。

日時：平成29年2月17日（金）～26日（日）

10:00～16:00※土日は17:00まで

会場：七日町特設会場（山形市七日町2-1-2） ※az七日町向かい

安達峰一郎

日本の外交官から世界の裁判官へ

「山形大学 安達峰一郎 研究プロジェクト」

最終報告シンポジウム

山形が生んだ世界的な偉人である安達峰一郎は、第一次世界大戦前後の複雑な国際情勢の中で外交官として国際平和のために尽力し、国際社会において高く評価されました。

山形大学では、安達峰一郎の業績を正當に評価するため、約4年半にわたり、全国の外交史・国際政治及び国際法の第一級の研究者による研究を進め、このたび研究の集大成として成果報告書を刊行することとなりました。

これを記念し、安達峰一郎の業績や人物像について著者の口から直接語られる、最終報告シンポジウムを開催いたします。

2017年3月6日(月)

開演 14:00 / 開場 13:30

キャンパス・イノベーションセンター東京
5階リエゾンコーナー

〔参加無料・申込不要〕

【問合せ先】

山形大学 総務部 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL : 023-628-4006 FAX : 023-628-4013

E-mail : somsomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【主催】山形大学 【協力】東京大学出版会

プログラム

13:30 受付開始

14:00 開会の挨拶

山形大学理事 阿部 宏慈

14:05 ご挨拶

外務省国際法局長 齋木 尚子

14:10 総括報告

放送大学教授 柳原 正治

14:15 成果報告

① 「安達峰一郎と日本の国際法学」

九州大学教授 明石 欽司

② 「安達峰一郎とフランス

～駐仏大使時代(1927-30)に焦点をあてて～

新潟県立大学教授 黒田 俊郎

③ 「イギリスの状況と国際連盟における

判事選挙をめぐる」

東京大学教授 後藤 春美

④ 「安達峰一郎の国際裁判観

—独逸関税同盟事件との関連で—

岡山大学教授 李 禎之

⑤ 「司法の良心

—アメリカにおける安達峰一郎のレガシー—

関西外国語大学助教 三牧 聖子(予定)

16:00 パネルディスカッション

〈テーマ〉「安達研究の現状と今後の展望」

〈ファシリテータ〉山形大学プロジェクト教員 北野 通世

山形大学教授 北川 忠明

17:00 終了

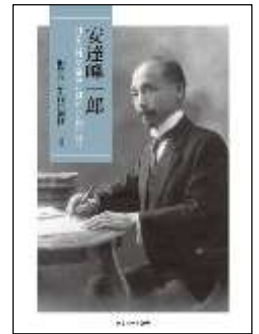
『安達峰一郎 日本の外交官から世界の裁判官へ』

柳原正治（放送大学教授）・篠原初枝（早稲田大学教授）編

発売日：平成29年2月28日 判型：A5判、288頁

価格：本体4500円+税 発行元：東京大学出版会

内容：ポーツマス会議では日本の国益を代弁する外交官として交渉に臨み、国際連盟では日本代表として会議の議長を務め、常設国際司法裁判所ではアジア人初の長官として正義の実現を目指した、安達峰一郎。知られざる真の国際人にさまざまな角度から光を当てた、第一級の論者が織り成す初の作品。



目次：

第I部 安達峰一郎とその時代

第1章 安達峰一郎の生涯（柳原正治）

第2章 安達峰一郎と国際協調外交の確立（井上寿一）

第3章 安達峰一郎と日本の国際法学（明石欽司）

第II部 安達峰一郎と欧米の国際秩序

第4章 安達峰一郎と戦間期ヨーロッパの協調（牧野雅彦）

第5章 安達峰一郎とフランス

——駐仏大使時代（1927-1930）に焦点をあてて（黒田俊郎）

第6章 安達峰一郎とアメリカ

——日米協調のもう一つのシナリオ（三牧聖子）

第III部 安達峰一郎と国際連盟

第7章 戦間期日本と普遍的国際組織（植木俊哉）

第8章 国際連盟理事会における安達峰一郎

——「報告者」の役割（篠原初枝）

第9章 安達峰一郎と国際連盟の判事選挙

——国際社会における地位（後藤春美）

第IV部 安達峰一郎と国際裁判

第10章 安達峰一郎と国際裁判制度（李禎之）

第11章 安達峰一郎と国家間紛争の解決方式（柳原正治）

安達峰一郎関連の一次史料（柳原正治）

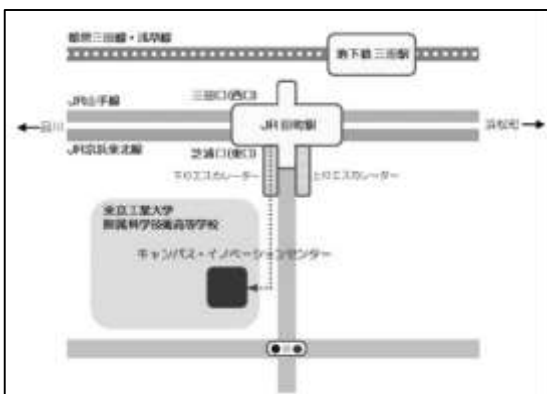
*シンポジウム当日に会場販売を行います。

また、ご注文はお近くの書店においても承ります。

山形大学 安達峰一郎研究 プロジェクト」とは・・・

山形が生んだ世界的な偉人、安達峰一郎博士の業績は、日本はもとより山形でさえ一般的には知られていませんでした。山形大学では、安達博士の業績を正当に評価し、山形県民、さらには日本の誇りとなるよう、平成24年11月に全国の外

交史・国際政治及び国際法の研究者10名によるプロジェクトを立ち上げ、研究を進めてまいりました。このたび、本プロジェクトが最終年度を迎え、これまでの研究の集大成として、成果報告書を刊行し、併せてシンポジウムを開催いたします。



会場

キャンパス・イノベーションセンター東京

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

・JR田町駅より 徒歩1分

（芝浦口よりエスカレーターを下り、右手すぐ）

・地下鉄三田駅より 徒歩5分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

平成29年2月21日
山形大学

寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座
豚舎除幕式及び活動報告会を開催します

昨年4月農学部では、カルビー株式会社相談役・松尾雅彦のサポートにより寄附講座（食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座）を開設しました。この研究活動の一環として、農学部附属やまがたフィールド科学センター（高坂農場）で建設が進められていた豚舎が昨年12月に完成しました。

このたび、寄附者である松尾氏をお招きし、豚舎の完成を祝する除幕式を執り行うとともに、本年度に展開された寄附講座の活動報告会を開催いたします。

◎食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座開設記念実験用肥育豚舎除幕式

開催日時：平成29年2月28日（火）14：00～

開催場所：山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター
（高坂農場）

◎寄附講座報告会食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座活動報告会

開催日時：平成29年2月28日（火）15：20～（除幕式終了後）

開催場所：山形大学農学部301講義室

内 容：

基調講演	カルビー株式会社相談役	松尾 雅彦
事例報告（その1）	学術研究院 教授（農学部担当）	浦川 修司
事例報告（その2）	学術研究院 助教（農学部担当）	中坪 あゆみ
事例報告（その3）	一般社団法人山形県農業会議	五十嵐 淳

（お問合せ先）

鶴岡キャンパス事務室附属施設担当

TEL：0235-24-2278

平成29年2月21日
山形大学

震災の記憶と教訓の風化防止のため、 学生と市民が『6年目のCandle Night』を開催します

学生、市民、市民団体が構成されるキャンドルナイト実行委員会が同イベントを行うのは今回で6回目。鶴岡市と山形大学農学部との共催、鶴岡市社会福祉協議会と鶴岡市教育委員会の後援のもと、2017年3月11日（土）19時に鶴岡アートフォーラムでキャンドルや竹灯籠を一斉に灯します。キャンドルは、市民参加のキャンドル作成ワークショップにおいて作ったものを使用します。当日の14:30～15:30は『追悼と備えのつどい』と題して、犠牲者への黙祷を捧げ、また自らの災害への備えについて知り考える一時を鶴岡市防災安全課の協力の下に行います。そして19～20時には鶴岡アートフォーラム屋外にキャンドル・竹灯籠を一斉に灯します。その灯火をみつつ、市民有志による合奏・合唱を聴きながら、震災の記憶とそこから得た教訓（災害に対する備えなど）を参加者一同で共有します。参加は無料です。

◆1年目のCandle Nightから6回目の開催

学生と市民有志によるキャンドルナイトの取り組みは、震災発生から1年が経過しようとしていた2012年2月に始まりました。鶴岡に避難してきた1人の女性がSNS（Facebook）上で発した「1年目となる3月11日に私は何ができるのだろうか」といった想いに多くの学生・市民が共感し、庄内に暮らす私たちにできることとして、「3.11のCandle Night」を始めました。

それから毎年開催して、今回が6回目。時が経つにつれ、震災の記憶と震災から得た貴重な教訓がドンドン風化しているように思います。あの日、あの時の未曾有の出来事。あの日、あの時に気が付いたこと、感じたこと。この5年間で変わったこと。明日からの未来に向けて考えること。他人事ではなく、自らのこととして備えるべきこと。

契機となった3月11日に市民が集い、それら様々な想いを抱きながらキャンドルを灯すことで、それぞれを想いが一つにつながるのではないかと実行委員会では考えています。

◆キャンドルは全て市民の手作り

庄内地域一円のお寺やセレモニーホール、個人から無償提供いただいたロウソクを材料にカラフルなキューブ状ロウソクを実行委員が事前に作り、地域のイベント等で一般参加型ワークショップを開催し、市民にそのキューブを使って紙コップキャンドルを一個一個手作りしてもらっています。紙コップには、それぞれの震災に関する想いがメッセージとして記されています。このような活動を1年間続けてキャンドルを作り貯めます。

◆一般参加型キャンドル作成ワークショップの開催日程

①キャンドル作りワークショップ in こびあ

開催日：2月25日（土）・26日（日）・3月4日（土）・5日（日）

時 間：10：00～16：30

会 場：鶴岡協同の家こびあ 2階（鶴岡市余慶町1-2）

参加費：無料

②キャンドル作りワークショップ in アートフォーラム

開催日：3月10日（金）

時 間：9：00～19：30

会 場：鶴岡アートフォーラム アトリエ（鶴岡市馬場町13-3）

参加費：無料

※ 3月11日（土）にはキャンドル作成は行わず、大きな布への想い・メッセージの寄せ書きを行います。

◆今回初めての企画『追悼と備えのつどい』

地震発生時刻に合わせて犠牲になられた方々を悼む「追悼のつどい」はこれまでも行ってきましたが、その名称に『備え』という言葉をつけ加え、内容を改めます。黙禱をし、6年目を迎えるにあたっての学生等からのメッセージを発信することはこれまで同様に行いますが、それに続けて「防災・減災に関する学びの時間」を設けます。災害への自らの備えが重要であることは私たちが震災から得た教訓の一つですが、それを学び考える機会は余りありません。今回は鶴岡市防災安全課の協力の下、津波や洪水に関するハザードマップ展示、ビデオ上映、防災グッズの展示等を行い、参集市民が防災・減災について自らのこととして考えるきっかけを作りたいを考えています。

開催日時は3月11日（土）14:30～15:30です。

（お問合せ先）

学術研究院 准教授

菊池 俊一

（6年目のCandle Night実行委員会委員長）

電話 0235(28)2880

あの日から6年 未来を想う私たちが

柔らかな灯火で ひとつにつながる夜

6年目のキャンドルナイト

Candle Night

Candle Night from 庄内 - つながる灯火 on 3.11 -

2012年から始まった3.11のCandle Night キャンドルを静かに灯しながら過去に黙祷し
安らかな未来を願い 想いを共有しましょう。

3月11日(土) 19:00 キャンドル点灯



主催：6年目のCandle Night実行委員会


共催：鶴岡市・山形大学農学部

後援：鶴岡市教育委員会・鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡協同の家 **こぴあ** 2階 鶴岡アートフォーラム

2/25[土] 26[日] 10:00~16:30
3/ 4[土] 5[日] 10:00~16:30

3/10[金] 9:00~19:30
3/11[土] 9:00~17:00

 3.11 のスケジュール
鶴岡アートフォーラム

14:30~追悼の催し
19:00~20:00 キャンドルの夕べ

 酒田市でも同時開催
Candle Night in 中町

18:00~20:00 マリーン5 清水屋前点灯




写真募集

あなたのキャンドルナイトを投稿してください

みなさんのご家庭・職場などで灯したキャンドルの
写真をコメントと共に下記アドレスまで投稿下さい。
みんなの想いをネット上で共有(シェア)しましょう。

✉ shonai.c.n@gmail.com



 Facebook にて最新情報配信中!
facebook.com/candlenight.3.11

お問合せ TEL: 0235-28-2880
6年目の Candle Night 実行委員会 山形大学農学部内(担当 菊池)

参加
無料



今年も約100人のスタッフが会場で待ってるよ!



科学で東北を

子どもから大人まで、科学に集う、サイエンスフェスティバル!

盛り上げ隊! @石巻



@大会開催

- 宮城県仙台第三高等学校「キラキラ工作シャボン玉」
キラキラヒラヒラの物体をふんわり回すとなんとシャボン玉に!?
- 東北大学大学院理学研究科
みちのく博物楽団「プニプニ化石のレプリカを作ろう」
宮城県でも見つかる化石からどんなことがわかるかな
- 天文学教室「プラ板deプラネタリウム」
ラインストーンで星座を描くオリジナルキーホルダー
「紙コップスピーカー」電気と磁石の力を利用した科学工作
- 東京学芸大学附属高等学校「ワクワク化学実験」
東京の高校生「ワクワク化学実験隊」が再び石巻に!
- スライムマイスター「のび～るスライム」
マイスターと一緒にスライムを作ってのびしてあそぼう
- 山形県立博物館
「不思議な生き物、変形菌(粘菌)の広場」
様々な色・形の変形菌の顕微鏡観察とキーホルダーづくり

@オープンワークショップ

- クラゲマイスター「クラゲふれあいコーナー」
クラゲにタッチしてみよう!クラゲの赤ちゃんもいるよ
- 山形大学SCITAセンター学生スタッフ
「カラフルカプセルを作ろう」
カラフルでイクラのように小さなカプセルを作ります
- 東京大学CAST
「～太陽の光で何ができる?～太陽光の科学」
自然での太陽光の働きから人工的な利用方法まで、太陽光をカガクします



サイエンスショー @視聴覚コーナー

- 10:30～11:00/13:00～13:30
「ピリツと電撃!?ヴァンデグラフショー」
山形大学SCITAセンター学生スタッフ
- 11:00～11:30/13:30～14:00
「ワクワク化学実験ショー」
東京学芸大学附属高等学校
- 11:30～12:00/14:00～14:30
「水素は未来のエネルギー」
山形大学教授 栗山恭直

@多目的室(工房)

- NPO法人ガリレオ工房「まゆランプであそぼう」
カイコがつくるまゆを使ってランプシェードに
- 蔵王マイスター
「山の恵みトチノミ笛や鳥笛を作ろう!」
トチノミやストロー・紙などで鳥の鳴き声に似た笛を作ります
- 山形大学職員「えれめんランプ/化学かるた」
周期表のカードゲームに挑戦してみよう!



♪小さなお子様は
保護者同伴でご参加ください♪

2017年

2月26日



10:00～15:00

■会場 こもれびの降る丘 遊楽館
(石巻市北村字前山15-1)

■問合せ先 ☎023-628-4506

山形大学SCITAセンター内

<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/>



主催 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト (山形大学)

共催 山形県立博物館、NPO法人ガリレオ工房、宮城県仙台第三高等学校、東京学芸大学附属高等学校
東北大学大学院理学研究科、東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST

後援 石巻市教育委員会、東松島市教育委員会、女川町教育委員会、鶴岡市立加茂水族館、河北新報社
公益財団法人 東京応化科学技術振興財団、公益社団法人 日本化学会、田宮印刷(株)、山形大学校友会

平成29年2月21日
山形大学

山形大学学生の継続的被災地復興支援活動 浦戸諸島桂島観光再生ツアー 参加者募集！

東日本大震災の被災地塩釜市浦戸桂島の復興支援のため、継続して6期目の『浦戸諸島桂島観光再生ツアー』を山形大学学生教職員有志が実施します。日本三景松島唯一の有人島である浦戸四島の一つ「桂島」で、東日本大震災から力強く復興を始めている桂島のみなさんとお客様との心と心を繋ぎ、「笑顔」を作ることが目的です。

桂島特産の牡蠣を取れたてのまま焼き、剥いて食べたり、島をクルーズしたり、森を散策したり、松島の絶景を海側から堪能したりと、普段の生活の中ではできない体験を満喫できます。コンビニも、信号もない、心安らぐ海と緑の自然の中で、取れたてのブランド牡蠣、海苔を、心ゆくまでご堪能ください。

～ 笑顔であいあふれる 桂島ツアー ～

◇ 日程【第一回】平成29年2月26日（日）※ 前日まで参加申込みを延長しています！

参加費：1食（現地での餅つき大会参加）付き
大人3,000円（小人1,500円）

【第二回】平成29年3月11日（土）～12日（日）

参加費：1泊4食付き大人11,400円（小人8,400円）

※ 行程・内容等：詳細は別添資料参照。



◇ 継続した支援活動で紡いだ桂島のみなさんとの深い繋がりから「浦戸諸島観光再生プロジェクト」が生まれました。これまで16回のツアーを実施しています。

◇ 2月26日（土）日帰りツアーでは、震災後6回目となる（ちょっと遅い）「新春餅つき大会」も実施します。大曾根餅つき保存会、NPO法人山形自立支援創造事業舎みちのく屋台こんにゃく道場のみなさんが参加し、オール山形で桂島を応援します！

☆ 2011年6月18日から、基盤教育科目「実践的キャリア教育学」等の受講生を中心に、有志学生、山形のNPO等（前掲のみちのく屋台こんにゃく道場及び大曾根餅つき保存会、オープンハウスこんぺいとう、ディーコレクティブ等）との協働のもと、山形の企業（山研発旅、アイ・エム・シー、セロン東北等）の協力も得ながら、これまでのべ1,500名以上の学生が活動に参加。2012年2月に立ち上げた「浦戸桂島復興連絡協議会」は、宮城県、塩竈市、東北大学、一般社団法人e-front、公益財団福祉法人さわやか福祉財団、国連大学等と会議を計41回開催しています。本活動に積極的に関わった農学部OG近藤瞳さん（今年度本プロジェクト代表者）は、昨年2月に、桂島に移住しています！

（お問合せ先）

学術研究院 教授

福島真司（エンrollment・マネジメント部担当）

mail: shinji-fukushima@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



懐かしいあの島へ。

笑顔であいあふれる

桂島ツアー

日帰り

2月26日(日)

申込締切日:2月17日(金)

料金

大人 **3,000円**
 小人 **1,500円**
 (日帰り・昼食付)

桂島の名産・焼き牡蠣が
 食べられます! 旬の味をぜひ!

一泊二日

3月11~12日(土・日)

申込締切日:3月3日(金)

料金

大人 **11,400円**
 小人 **8,400円**
 (一泊四食付)

牡蠣料理を堪能できる二日間!
 冬の松島・浦戸諸島漫喫クルージングなど
 盛りだくさんな内容です!

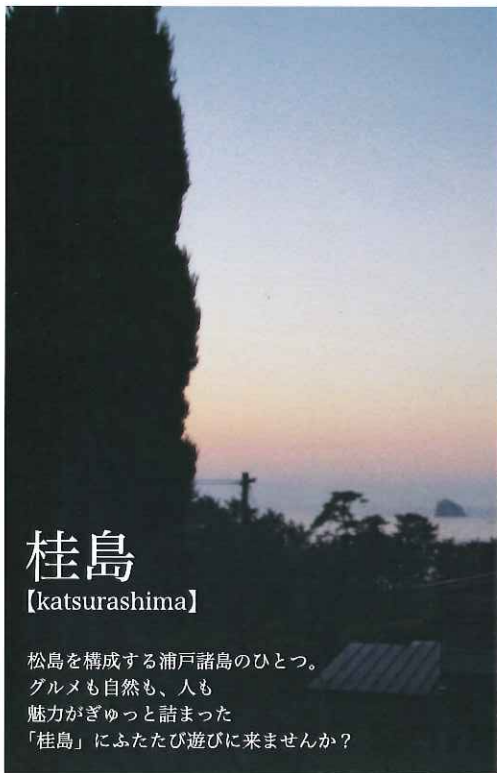
※小人は小学生まで。
 中学生以上は大人料金となります。

ツアー申込方法、日程など詳しい情報は裏面または下記ホームページでご確認ください。

<http://katsurashima.com/>

桂島から学ぶ

検索



桂島

【katsurashima】

松島を構成する浦戸諸島のひとつ。
グルメも自然も、人も
魅力がぎゅっと詰まった
「桂島」にふたたび遊びに来ませんか？

日帰り

2月26日(日)

申込締切日:2月17日(金)

料金	大人 3,000円
	小人 1,500円

(日帰り・昼食付)

一泊二日

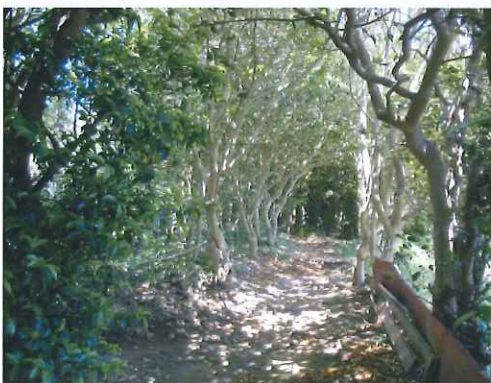
3月11~12日(土・日)

申込締切日:3月3日(金)

料金	大人 11,400円
	小人 8,400円

(一泊四食付)

※小人は小学生まで。中学生以上は大人料金となります。



日帰りツアー(2月26日)日程

- 7:00 山形大学出発
- 7:15 山形駅出発
- 7:30 県庁出発
- 9:53 桂島到着
- 10:00 桂島ハイキング
- 11:00 餅つき&焼き牡蠣大会(昼食)
- 14:31 桂島出発
- 16:50 県庁到着
- 17:00 山形駅到着
- 17:10 山形大学到着

一泊二日ツアー(3月11~12日)日程

- | | |
|---|--|
| <p>【1日目(3月11日)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7:00 山形大学出発 7:15 山形駅出発 7:30 県庁出発 9:53 桂島到着 10:00 桂島ハイキング 11:30 昼食 13:00 桂島ステイ・ステーション見学 14:00 自由時間 18:00 夕食 | <p>【2日目(3月12日)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9:00 朝食 10:30 冬の松島・浦戸諸島満喫クルージング 11:30 昼食(焼き牡蠣) 14:31 桂島出発 16:50 県庁到着 17:00 山形駅到着 17:10 山形大学到着 |
|---|--|

<お問い合わせ先>

浦戸諸島桂島観光再生プロジェクト
(山形大学学生卒業生教職員有志)
<http://katsurashima.com/>
【代表】近藤瞳(コンドウヒトミ)
【TEL】080-1166-7644
【mail】kondohitomi74@gmail.com

<お申込先>

募集型企画旅行(有)山形E旅
〒990-0811 山形県山形市長町4-5-43
総合旅行業務取扱管理者:金田史生
【TEL】023-681-3139
【mail】mail@yamagata-etabi.com
【営業時間】月曜~土曜 9:00~18:00
【定休日】日曜・祝祭日
登録番号:山形県知事登録旅行業2-237号
加盟団体:社団法人全国旅行業協会

【注意事項】●民宿での宿泊となりますので、1名でのご参加の場合、同性の方と相部屋になる場合があることをご承知ください。カップルや2~4名様のご家族、グループでご参加の場合、1部屋のご利用を確約いたします。(お部屋のタイプは1部屋につき、シングルベッド2名分、ソファベッド1名分、ロフト1名分の4名タイプ、また和室もございます。)●民宿にはアメニティ(歯ブラシ、タオル、ドライヤー等)や浴衣はございませんので、ご持参ください。●防寒対策を各自しっかりと準備してください。ツアー内で小型船に乗ることや、夜外出する場合がございます。●部屋数もしくはバスの座席数が埋まり次第、募集を締め切らせていただきます。参加ご希望の際は、お早めにお申込みください。●最少催行人数:1名 ●食事条件:(日帰り)昼食、(一泊二日)1日目昼・夜、2日目朝・昼 ●添乗員・バスガイドの同行はいたしません。学生スタッフおよび現地スタッフがさまざまなサポートをいたします。●料金に含まれないもの:飲料、お土産等の個人的性質の諸費用、また上記以外のもの。●天候や道路交通事情などにより、コースや時刻が変更となる場合がございます。ご了承ください。●山形県以外からの参加も受け付けておりますので、ご希望の方はお申込みの際にご相談ください。●アレルギー等ありましたら、お申込みの際にご相談ください。●お申込み方法:電話、FAX、電子メールにてお問い合わせください。こちらから必要書類をお送りいたします。特定の申込書に記入の上、書く出発日の一週間前(日帰り2/26、一泊二日3/3)までに旅行代金を添えてお送りください。●各コース、そのほかはお送りさせていただく必要書類(「ご案内」旅行取引条件説明書類)等にてご確認ください。●民宿の空き状況によってはお申込み締切後でもツアー参加が可能となる場合がございます。まずはご連絡ください。

ツアー申込方法、日程など下記ホームページでもご覧いただけます。

<http://katsurashima.com/>

桂島から学ぶ

検索

平成29年2月21日
山形大学

山形大学発の資格認定制度「星のソムリエ」全国シンポジウムを開催

山形大学「やまがた天文台」^(※)発祥の星空案内人(星のソムリエ)資格認定制度は、全国に知られる制度と発展しました。

このたび、3月5日～6日の2日間にわたり、星空案内人の全国シンポジウムを開催します。地域社会で科学としての星空、文化としての星空を伝える全国の星空案内人(星のソムリエ)が一堂に会して切磋琢磨するシンポジウムです。今年は、はやぶさ2をコントロールしたJAXA臼田深宇宙空間観測所の地元である長野県佐久市で開催し、同所長の村田先生の講演があります。また、NHKにも出演されているプラネタリアンの永田美絵さんの特別講演も予定しています。

◎ 第11回 星空案内人全国シンポジウム

星空の魅力をうまく伝えられるように、全国の星空案内人が集まり、星空案内人の活動をさらに活性化するための道を研究するシンポジウムを開催します。

開催日：平成29年3月5日(日)～6日(月)

会場：長野県佐久市 佐久平交流センター2F第5会議室

主催：星空案内人資格認定制度運営機構

共催：信州佐久星空案内人の会事務局(佐久広域連合)、山形大学理学部

(詳しくは <http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/~ann/symp11/2nd.html>)

◎ 「星のソムリエ」資格認定制度

星のソムリエは、山形大学理学部屋上にある「やまがた天文台」において、宇宙や星空の魅力を伝える人材を養成するための資格として2003年に誕生しました。ちょっと星空に興味がある、といった気軽な気持ちからだれでも星のソムリエになって科学や文化の普及活動ができるという資格として徐々に認められ発展してきました。

現在は、「星空案内人資格認定制度運営機構」がこの制度の運営を行っており、資格認定を行う団体は、沖縄から青森まで29団体(大学、科学館、プラネタリウム館等)と全国に広がっています。すでに全国で約4,000人が資格を取得しています。

※ やまがた天文台は、山形大学理学部とNPO法人小さな天文学者の会が共同で運営する天文台です。学びと研究の拠点である大学からは最新の宇宙研究の成果が伝えられます。一方、市民が運営に参加しているので、やさしく、わかりやすい市民の目から見たサービスの提供ができます。最新の科学と親しみやすさが共存する全国でも珍しい天文台です。

(お問合せ先)

学術研究院 教授

柴田晋平(理学部担当)

電話 023-643-4924

全国からやってきた星空案内人さんたちと、ここでしかできない宇宙の話を。



第11回
星空案内人
シンポジウム

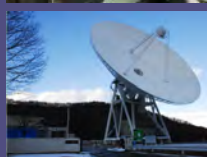
2017.3.5 [sun] - 6 [mon]

長野県 佐久市 佐久平交流センター 2階 第5会議室

星空や宇宙を日常生活の中で楽しみ、親しみ、愛でる文化を育てる星空案内人の活動。それをさらに活性化するための道を発表や情報交換を通して研究するシンポジウムです。



シンポジウム講演・発表
星空案内活動報告など 25 件



招待講演
宇宙と宇宙の話: Space と Universe

白田深宇宙空間観測所 所長 村田 泰宏



シンポジウムワークショップ
宇宙を伝える
～プラネタリウム解説員永田美絵のノウハウ～
コスモプラネタリウム 渋谷 永田 美絵

詳しくはこちらをご覧ください



ホームページにて
プログラム・参加
者情報を公開して
います。

山形大学 人財バンクを活用した講演会

2017年3月3日 16:30-18:00

(18:30-19:30 キャリア相談)

山形大学 理学部 31 番教室

講演者；株式会社トリプルアイズ社長
福原 智 氏
(山形大学理学部物理学科卒)



講演タイトル

「最先端 I T 技術の A I (人工知能) が導く未来」

講演者からのメッセージ

山形大学理学部物理学科を平成 11 年 3 月に卒業し、東京千代田区で I T 会社を経営している福原と申します。

I T 技術に常に進化し、A I においては、第三世代に入りました。その歴史を解説しつつ、進化のスピード、ビジネス界がどう変化しているのかをお話します。

また、ディープラーニングの数式を用いた説明や、A I とは何なのか、経営視点からも、現場の導入事例を含めながら理学部物理科出身らしく説明したいと思います。

今後 A I の進化は止まらず、その技術を利用して人間がいかに進化していくのか講演では皆様と一緒に、A I とコンピュータと人間などの感覚について楽しくディスカッションしたいと思います。

今後 卒業に向けてどういった進路を選択したら良いか迷っている方もいるかと思いますが、卒業して約 20 年たって O B から言える進路に関わる有益なお話も致します (講演後に個別のキャリア相談をいたします)。

お時間があれば是非お越しください。お待ちしております。

世話人：山形大学 学術研究院 教授 岩田高広

(TEL 023-628-4762、E-mail : tiwata@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

本講演は学生対象ですが、大学職員の方や一般の方の聴講も受け付けます (申し込みは不要です)。

平成29年2月21日
山形大学

平成28年度山形大学学生表彰及び奨励表彰の表彰式のご案内

山形大学は、学生及び学生団体を表彰し、功績を称える制度として、学生表彰と奨励表彰の2制度を設けています。

平成28年度の被表彰者を決定し、学生表彰において12名と3団体、奨励表彰においては21名と9団体について、2月22日（水）にそれぞれ学長と教育・学生支援担当副学長が表彰を行います。

「山形大学学生表彰」

学術研究活動、学業成績、課外活動、社会貢献活動等において、非常に優れた成績又は功績を残し、社会的にも高い評価を受けた本学の学生及び学生団体を表彰する制度として平成16年度に設けられました。

（表彰例）

- ・権威ある国際学会誌への学術研究論文の掲載
- ・全国的規模の競技会等での入賞

～表彰式～

- ◆日 時：平成29年2月22日（水）13：30
- ◆会 場：山形大学法人本部3階 第一会議室
- ◆被表彰者：学生12名と学生団体3団体
- ◆表彰者：学長 …表彰状と副賞(図書カード)を贈呈します。

「山形大学奨励表彰」

学生表彰に該当する者以外で、学術研究活動、課外活動、社会貢献活動等において、顕著な業績を挙げた者又は高い評価を受けた者に対して、奨励、激励、感謝を表すために、平成22年度に設けられました。

（表彰例）

- ・国内の学術研究会等での表彰
- ・東北地区の競技会等での入賞

～表彰式～

- ◆日 時：平成29年2月22日（水）14：45
- ◆会 場：山形大学法人本部3階 第一会議室
- ◆被表彰者：学生21名と学生団体9団体
- ◆表彰者：教育・学生支援担当副学長 …表彰状と副賞(図書カード)を贈呈します

（お問合せ先）

教育・学生支援部学務課 佐竹
電話 023-628-4841